

令和5年12月12日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

活動報告

令和5年11月1日～30日

生活支援事業

- 水道パッキング交換 : 1件
- テレビの不具合 : 1件
- テレビリモコン調整 : 1件
- 延長コード交換など : 1件
- スーパーまでの付き添い : 1件
- ゴミ出し : 3件
- 冷蔵移動 : 1件
- 電話機の相談 : 1件
- 生活相談 : 1件

小計 11件

認定事業

- 見守り(高齢者) 7件
 - 子育て広場 : 1日
 - 子ども食堂 : 30日(食堂) 19日 29日(フードパントリー)
 - 子ども居場所 : 25日
 - 登下校の見守り(児童)
 - 認知症カフェ(なもなも) : 10日
 - ふれあいサロン : 10日 22日
- 小計 16件 合計 27件



『ちごいち』:11月19日(日) 兒子八幡社 10時～14時

お天気にも恵まれ、多くの方にご来場いただきました。物販等の出店やおゆずりコーナーの他に、境内ではちごいちクイズラリーや氏子総代の方の手作りゲーム、社務所ではささえあいカフェで無料の飲物やお菓子を提供する休憩所を設け、子どもはもちろん、大人も楽しんでいました。参加した人たちは、また来年も開催してほしい、おゆずりコーナーにいいものを見つけた！昨年買ったけど、今年もまた買ったよ、などと笑顔で感想を口にしていました。(天野美帆 ボランティア)



子ども店員がになった駄菓子屋さん

ちごいちにかける想い

子供の頃、蝉取り、木登り、庄屋、カチン玉、鉄棒、滑り台、押しくら饅頭、Sニシ、野球、ドッチボール、サッカー…数え切れないゲームセンターだった。退職後、身近な道が歴史道旧古川と知り、古地図・村絵図・古文書を開くのが楽しみ、遊びとなった。お宮(天神さん)の東側は木曾街道、南側は大幸川で東志賀村の中心です。昔の人達も今日のように集い、『ちごいち』を楽しんだに違いない。(豊嶋 雅夫さん:志賀一北)



子ども店員さんたち

編集後記

今回は道ばたで立ち往生している、足の不自由な方を店まで付き添ったり、玄関先でテレビが点かないと訴える方に出会い対応したという例が含まれてます。コミセンや電話による要請には、時には対応に時間を要します。住民同士がこのような困りごとを、日頃からお互いに助け合って暮らす地域を目指しましょう。ちごいち、世代をこえて集まり楽しむ場の到来です。ささえあいを担う世代の若返りにも資するイベントで、ぜひ続けて実りあるものにしたいものです。



今まで発行した「支えあいたより」をこちらからご覧になれます



おゆずりコーナー

ちょっとした困りごとは相談窓口 お電話でも受け付けいたします
開設日時: 毎週水・金曜日 9:30～12:00
☎ 080-3651-7435
相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも
第2金曜日 午後2時～4時
場所: 東志賀コミュニティセンター
連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田

